

Press Release

Oct 16, 2020 | ID: 20-S040

ボルボ・カーズの安全の専門家は語る:ドライバーをサポートし、 注意力散漫を減らすためテクノロジーを使用する

本プレスリリースは、10月16日スウェーデン本社発の翻訳版です

車内にスマートフォンやタッチスクリーンが登場したことで、運転中の注意散漫による危険性についての議論が活発化しています。しかし、ボルボ・カーズの安全に関する専門家は、気が散ることは日常の実態であり、それだけにテクノロジーは人々の毎日の移動をサポートするために使用されるべきだと述べています。

ボルボ・カーズ独自の安全科学と行動科学の研究によると、車内の最新テクノロジーが正しく使用されていれば、気が散ることを積極的に減らし、交通による安全性を高め、人々がより運転に集中するドライバーになれることが示唆されています。

ボルボ・カーズ・セーフティ・センターの責任者である Malin Ekholm(マリン・エクホルム)は、「現代のドライバーの災いの元はスマートフォンやタッチスクリーンだと考えるのは簡単ですが、実際は生活全体が複雑になっているのです。人々が意図的に気を散らそうとしていないことはわかっていますが、気が散ってしまうことはよくあることです。保育園に遅刻してストレスを感じることもあるでしょう。あるいは、仕事で嫌なことがあった後にハンドルを握ってしまうこともあるでしょう。これらはすべて、ドライバーとしてのあなたに影響を与えます。」と述べています。

Malin Ekholm は今週、ボルボが主催した安全に関する特別なウェブ放送の中で、このような発言をしました。ボルボ スタジオトークは[ここ](#)からオンデマンドで視聴することができます。この最初のボルボ スタジオトークでは、彼女と他の交通安全の擁護者たちが、注意力散漫やその他の差し迫った交通安全問題について議論しました。

注意散漫という観点から見ると、1940年代の車は現在の車よりも安全だと言う人もいます。確かにスクリーンやスマートフォン、ラジオさえありませんでした。しかし、それは今日のドライバーや社会が向き合っている状況ではありません。

現実には、人々は友人、家族、仕事、エンターテインメントと繋がりたいと考えており、注意散漫に対する反応は人それぞれです。"そのため、私たちはお客様にどこにいてほしいかではなく、お客様がいる場所に対応したいと考えています。だからこそ私たちは、お客様が安全に運転できるように、テクノロジーを適切な方法で使用することに重点を置いています。

ボルボ・カーズは、注意力散漫の危険性に対処するためにテクノロジーを積極的に使用し、道路上で最も安全な車を製造しています。例えば、オートブレーキやステアリング・アシストを備えたアクティブ・セーフティ・システムは、ドライバーが集中力を失ったり、一瞬気が散ったりした場合に、ガードして助けてくれるように設計されています。

新型 XC40 Recharge (BEV) の車内では、ボルボ・カーズの新しい Android 搭載インフォテインメントシステムの先進的なボイスコントロールにより、ドライバーはハンドルを握ったまま、温度のコントロール、目的地の設定、お気に入りの音楽やポッドキャストの再生、母親の誕生日の電話などを行うことができます。

「ボルボの主要機能を音声で操作できることで、ドライバーはハンドルから手を離さず、道路から目を離さないでいることができます」と Malin Ekholm は述べています。"また、シティ・セーフティー、ラン・オフロード・ミティゲーション、ステアリング・アシスト付きのオンカミング・レーン・ミティゲーションなどのアクティブ・セーフティ・システムは、お客様を見守ってくれるもう一組の目として機能します」。

ボルボ・カーズは、ドライバーを監視する車載カメラやその他のセンサーによっても、注意力散漫に対処すべきだと考えています。このような技術を使えば、明らかに注意力が散漫になっている(または酔酩している)ドライバーが警告信号に反応せず、重大な、致命的な事故を引き起こす危険性がある場合に、車が介入することができます。

この介入には、車の速度を制限したり、ボルボ・オン・コールのアシスタンス・サービスに警告を出したり、最後の手段として、積極的に車を減速させて安全に駐車したりすることが含まれます。ボルボ・カーズは、これらのカメラをボルボのスケールラブルな次世代車両プラットフォーム SPA2 に導入することを計画しています。

※国内は 2021 年の受注開始を予定しています

ボルボ・カー・グループ(ボルボ・カーズ)会社概要

ボルボ・カーズは、1927 年に創業した高級自動車ブランドの一つです。2019 年度において営業利益 143 億 SEK(スウェーデン・クローナ)(前年: 142 億 SEK)、売上高 2,741 億 SEK(前年:2,527 億 SEK)を記録しました。2019 年通期の世界販売台数は、前年比 109.8%となる過去最高の 705,452 台(前年:642,253 台)を達成しました。2019 年時の正社員数は 41,500 人で、本社、製品開発部門、マーケティング・総務部門の主な拠点はスウェーデンのイエテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフストローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。ボルボ・カーズは、新企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後 5 年間での電気自動車の世界販売台数 50%の達成や、収益の半分をダイレクトコンシューマービジネスで生み出すことなど、当社の多くの戦略にも反映されています。当社は 2040 年までにクライメートニュートラルを実現することを目標に、CO₂ 排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン マーケティング部 広報グループ

Phone : 03-5404-8611

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2020 Volvo Car Japan Limited